



2025年12月18日

北海道苫小牧海陸一貫モーダルシフト推進協議会

北海道における物流の課題解決に向け、船舶・鉄道一貫輸送の実証実験を実施 ～20フィート海上コンテナを用いた海陸一貫モーダルシフトを構築へ～

「北海道苫小牧海陸一貫モーダルシフト推進協議会※」は、2025年12月9日～11日にかけて、トラックドライバー不足など深刻化する北海道の物流課題解決のため、船舶・鉄道一貫輸送によるモーダルシフト構築に向けた実証実験を実施しました。

本実証実験で実施した内容については以下のとおりです。

【実証実験参加者】

- ・ 物流事業者：日本貨物鉄道㈱北海道支社、苫小牧埠頭㈱、日本フレートライナー㈱、大北運輸㈱
- ・ 港湾管理者：苫小牧港管理組合
- ・ オブザーバー：北海商科大学（相浦宣徳 教授）

【実証実験の概要】

苫小牧港で荷揚げされた20フィート海上コンテナ2本を、苫小牧港から旭川市内の納品先まで、トレーラー輸送と鉄道輸送を組み合わせた「モーダルコンビネーション」による貨物輸送を実施しました。

本実証実験の対象とした現状の輸送方法においては、図-1に示すとおり、コンテナ1本あたり1台のトレーラーが必要となります。これに対し、今回の実証実験では図-2に示すとおり、苫小牧港の最寄り駅「苫小牧貨物駅」と、納品先の最寄り駅「北旭川駅」の間の輸送を、鉄道輸送の活用によって2本のコンテナを1人のドライバーで納品先まで輸送する計画・準備を進めてきました。

納品日は12月10日にコンテナ2本を納品することで日程調整していたことから、鉄道輸送するコンテナB（実入）においては、納品日前日の12月9日に苫小牧港から苫小牧貨物駅へ搬入する予定でしたが、12月8日23時15分頃、青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5、最大震度6強の地震発生の影響により、12月9日は室蘭線などを通過する貨物・旅客鉄道の多くが運休となりました。

そこで、図-3に示すとおり、非常に厳しい状況の中、急遽、コンテナB（実入）の搬入先を「苫小牧貨物駅」から「札幌貨物ターミナル駅」へ変更することで、納品先への納期を遅らせることなく「モーダルコンビネーション」による貨物輸送を実施しました。地震発生によって、苫小牧貨物駅から札幌貨物ターミナル駅へのトレーラー輸送が変更されることとなりましたが、災害時のBCP対策も確認出来た実証実験となりました。

【今回の実証実験の検証について】

20フィート海上コンテナのトレーラー輸送から、より長距離・大量輸送に適した鉄道輸送へシームレスにモーダルコンビネーションすることで、ドライバーの労働時間や長距離トレーラーの台数削減が期待できます。また、温室効果ガス削減、輸送手段の複線化によるBCP対応も実現し、持続可能な物流体制の構築が期待出来ます。今回の実証実験で得られた結果や課題を詳細に分析し、将来的な社会実装に向けた評価を進めてまいります。

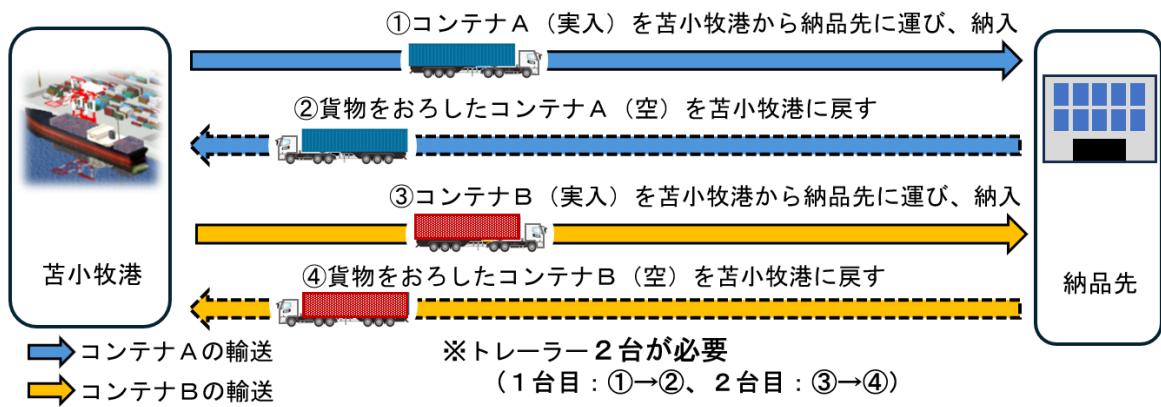


図-1 現状の輸送方法

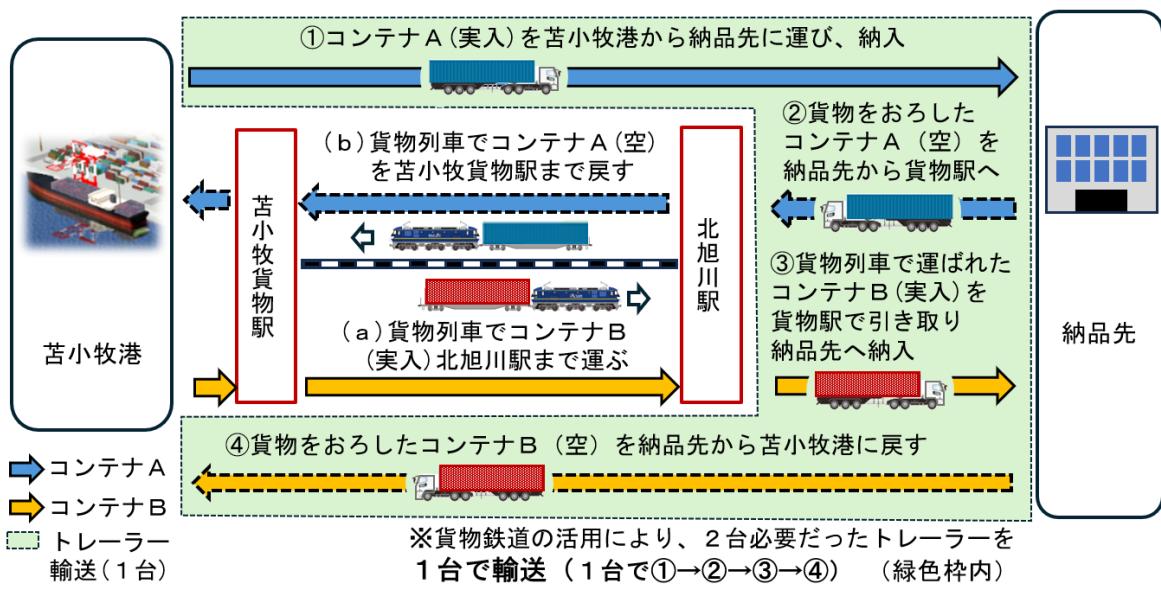


図-2 当初予定していた実証実験

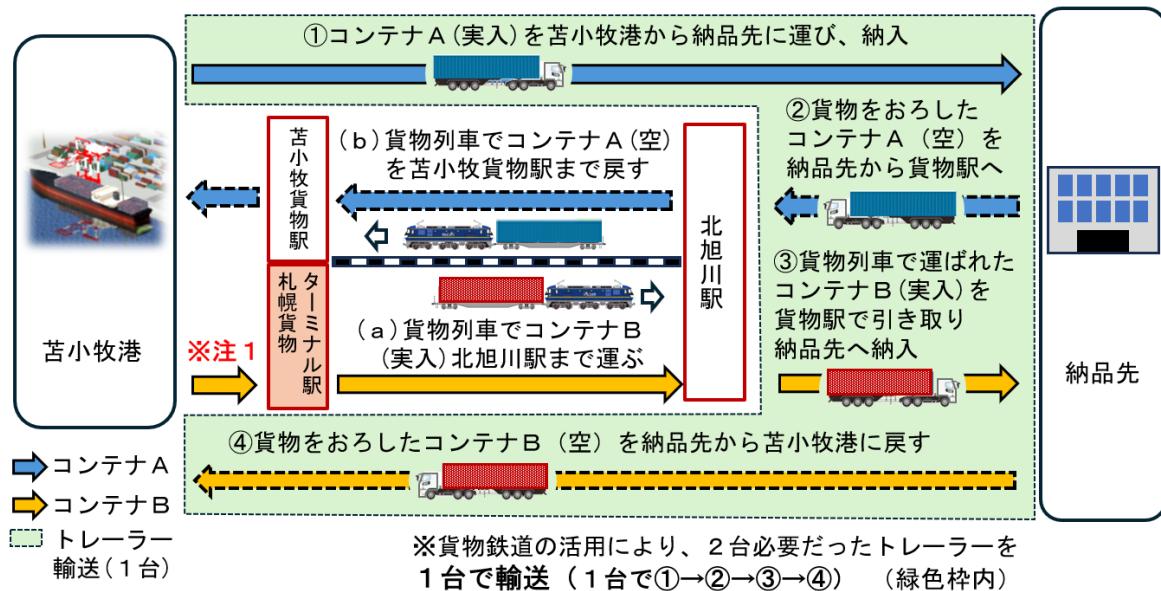


図-3 今回実施した実証実験

【今回実施した実証実験の具体的な輸送方法】

<12月9日(火)>

- ・コンテナA、B（共に実入）を、苫小牧国際コンテナターミナルから搬出。
- ・コンテナA（実入）→トレーラーで積置き。
- ・コンテナB（実入）は、苫小牧から札幌貨物ターミナル駅へ搬入（[写真①](#)）→北旭川駅へ鉄道輸送。

<12月10日(水)>

- ・コンテナB（実入）は鉄道輸送で北旭川駅に早朝に到着。
- ・コンテナA（実入）は、トレーラーで苫小牧発→早朝に旭川市内の納品先へ配送→納品先で荷卸し→コンテナA（空コン）を午前中に北旭川駅に搬入（[写真②](#)）、その後、鉄道輸送で到着しているコンテナB（実入）を搬出（[写真③](#)）→コンテナB（実入）を納品先へ配送→納品先で荷卸し。
- ・コンテナA（空コン）は鉄道輸送で苫小牧貨物駅へ鉄道輸送。
- ・コンテナB（空コン）はトレーラーで苫小牧へ陸送。

<12月11日(木)>

- ・コンテナB（空コン）は、苫小牧国際コンテナターミナルへ搬入。
- ・午前中にコンテナA（空コン）が苫小牧貨物駅到着（[写真④](#)）→苫小牧貨物駅でコンテナA（空コン）を搬出し、苫小牧国際コンテナターミナルへ搬入。

【今回実施した実証実験の様子】

写真①

札幌貨物ターミナル駅へコンテナB（実入）の搬入



写真②

北旭川駅へコンテナA（空）の搬入



写真③

北旭川駅からコンテナB（実入）の搬出



写真④

苫小牧貨物駅に到着したコンテナA（空）



※北海道苫小牧海陸一貫モーダルシフト推進協議会

北海道における物流課題解決を目的に、苫小牧港管理組合、日本貨物鉄道株式会社北海道支社、苫小牧埠頭株式会社および北海商科大学（オブザーバー）により設立された協議会。2025年9月、国土交通省が公募した「地域連携モーダルシフト等促進事業」において、「北海道苫小牧地域での海陸一貫モーダルシフト」の実現可能性調査の採択を受けています。

【本件に関するお問い合わせ先】

苫小牧港管理組合	施設部計画課 TEL 0144-34-6682
日本貨物鉄道株式会社 北海道支社	営業部 TEL 050-2017-4118
苫小牧埠頭株式会社	経営企画部 TEL 0144-33-6161

以上